

久宗 周二 教授

【ひさむね しゅうじ】

高崎経済大学経済学部 卒業、日本大学大学院生産工学研究科 管理工学専攻博士前期課程修了、北海道大学大学院水産科学研究科 博士(水産科学)授与。



- 産業・組織心理学
- 人間関係論
- 労働安全衛生

研究テーマ

現在興味があるテーマでは、人間の行動分析です。現代日本の様々な日常生活を中心とした様々な場面を、冷静に観察することによって、今までは気付かなかった、新しい知見が得られます。

労働安全を推進するための自主改善活動についての研究であり、以前は航海訓練所と共同で、練習船の実習生に対して実施して効果をあげています。現在は、北海道漁船海難防止・水難救助センターの協力を得て、北海道の漁業者を中心に、普及活動を行っています。

その他、組織事故の分析、労働災害の研究、街のバリアフリー、地産地消による中心市街地の活性化などの研究もを行っています。

ゼミでの活動について

産業心理学や労働安全衛生の視点を学び、社会の諸事象について理解して、ゼミの受講者と相談しながら、テーマを選び、発表を行っています。知識を習得するばかりではなく、それを実践で応用し、様々な問題の解決を図ります。そのために必要に応じて、実地調査、工場見学、自主ゼミを行っています。特に、学生には行動する力や創意工夫力、問題解決能力などを養ってほしいと考えており、現地に出かけて調査・分析を行ったり、様々なことを実体験できたりするフィールドワークを重視しています。これは本学の目指す“実学の精神で学生を教育する”にも通じます。

ゼミの活動の一つとして、地域再生を効果的に実現する取組みとして、地方自治体や地域の団体と協働して調査・研究をしています。毎月第三日曜日に生産者、中心市街地の商店街と協働で、高崎の中心市街地で農産物売る「たかさき昼市」の企画・運営に取り組んでいます。昼市は、内閣府の「地方の元気再生事業」の一環で、地産地消の社会実験としてスタートしましたが、現在は自主財源による事業としてゼミの学生が中心となり、ポスターやチラシを作成し、楽しめるイベントなども企画しています。

その他の、学生による自主的な活動をサポートしていきたいと考えています。卒業研究のテーマも、交通行動の研究、組織事故の分析、労働災害の研究、街のバリアフリー、大手小売店舗の店づくりについての研究、地産地消による中心街の活性化などの多彩です。

産学協同による活動など、大学時代にしかできない貴重な経験を得るために、学生ともに積極的に地域活動へ参加したいと考えています。学内の教育・研究と、学外の社会貢献活動が一体となって活動していくことを理想と考えています。

科学技術の発展と安全

ゼミ生のひとこと



久宗ゼミでは、教室での輪読や発表に加え、工場見学や「たかさき昼市」の企画・運営といったフィールドワーク活動を多く取り入れています。ゼミでは、教室での講義では学べないことも多くあり、とても良い経験になります。ゼミの活動は、ゼミ生が一丸となって活動しており、大学時代の思い出に残るものになりました。

久宗ゼミ1期生 福司 光成